

シラバス

| | | | | | |
|-----|---------|-------|-----|-------|--------|
| 教 科 | 科 目 | 単 位 数 | 学 年 | コ ー ス | 組 |
| 国 語 | 古 典 探 究 | 2 | 3 | 理系NP | 10・11組 |

| | | | |
|-----|---|-----|---|
| 教科書 | 「精選 古典探究 古文編」(三省堂) 「精選 古典探究 漢文編」(三省堂) 「大学入学共通テスト演習古典」(いいずな書店) | 副教材 | 「読解を大切にする 体系古典文法」(数研出版) 「基礎から解釈へ 漢文必携」(桐原書店) 「読んで見て覚える重要古文単語 3 1 5」(桐原書店) |
|-----|---|-----|---|

| | |
|-------|---|
| 科目の目標 | 1. 古典文学に幅広く触れながら、日本文化の特質と多様な価値観を知ることで、より多角的な思考力を身につける。 2. 古典文学を読み味わいながら、内容・表現から思想や感情を的確に捉える力を養うことで、より分析的な読解力を身につける。 3. 問題集を用いた問題演習に取り組むことで、大学入試レベルの知識・思考力・判断力を養う。 |
|-------|---|

| | |
|-------|---|
| 科目の概要 | 多種多様な形態の古典を題材とする。それにより、日本の伝統的な言語文化に対する理解を深めたり、文章から先人のものの見方、感じ方、考え方を読み取る能力を深めたりと、言語や文章に基づいた思考力を向上させる。 また、問題集を用いて問題演習を実施し、大学入試に向けて実力養成を図る。 |
|-------|---|

| 観点別評価 | | | |
|-----------------------|--|---|--|
| 3 観 点 | ○「知識・技能」 | ○「思考力・判断力・表現力」 | ○「主体的に学びに向かう態度」 |
| 10 の 力 | ①「知識・技能」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」 | ②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」 | ②「課題対応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」 |
| 観 点 の 評 価 | ○古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができたか。 ○古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができたか。 ○古典の表現の特色について理解を深めることができたか。 | ○文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができたか。 ○作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえて、古典の作品の価値について考察することができたか。 ○古典の作品について、その内容を自分の知見と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができたか。 | ○文学作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、文学作品について自分の考えを持つことができたか。 ○同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、多面的・多角的な視点から解釈したり、思想や感情などの共通点や相違点について考えたりすることができたか。 |
| 評 価 の 方 法 | ○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。 | ○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。 | ○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況 以上をもとに、各学期末の平常点で評価する。 |

シラバス

| 学 習 計 画 | | |
|-------------|--|--|
| 学期 | 学 習 内 容 (単 元) | 単 元 別 学 習 目 標 |
| 1 学 期 | 第1回 古文『発心集／今昔物語集』 漢文『韓非子／十八史略』 <p style="text-align: right;">【1学期 中間試験】 5月19日～22日</p> | 【古文】 ○重要古文単語と文法事項についての知識を身に付ける。また、それらをふまえて解釈及び内容読解をできるように学習する。 【漢文】 ○漢文の文型や句形、重要語句を学習する。また、それらをふまえて訓読及び内容読解をできるようにする。 |
| | 第2回 古文『増鏡』 漢文『鶴林玉露／雑詩』 第3回 古文『小島のくちずさみ』 漢文『経進東坡文集事略』 <p style="text-align: right;">【1学期 期末試験】 7月1日～7日</p> | 【古文】 ○助動詞の意味の識別や、紛らわしい語の識別について理解し、演習を積む。 ○和歌の解釈や修辞法についての基礎知識や古典常識についての知識を身に付ける。また、古典文法の知識を用いて読解する。 【漢文】 ○作者の考えを読み取ることで、当時の思想など漢文に通ずる常識について理解を深める。 |
| 2 学 期 | 第4回 古文『琴後集』 漢文『賀賓客の越に帰るを送る／唐書／旧唐書／晋書／野客叢書』 第5回 古文『更級日記』 漢文『貞観政要』 <p style="text-align: right;">【2学期 中間試験】 10月14日～17日</p> | 【古文】【漢文】 ○問題演習を通して、読解力を鍛えるとともに、解法の要領を学ぶ。 ○幅広く作品に触れることで、ジャンルごとの特徴について理解を深め、文章読解に活用できるようにする。 ○情報の比較や対話形式の問題など、共通テスト問題の形式に慣れる。 |
| | 第6回 古文『狭衣物語』 漢文『白氏文集／論語集注』 第7回 古文『枕草子／落窪物語』 漢文『桑乾を渡る／芸圃擷余』 <p style="text-align: right;">【2学期 期末試験】 12月1日～5日</p> | 【古文】【漢文】 ○問題演習を通して、読解力を鍛えるとともに、解法の要領を学ぶ。 ○幅広く作品に触れることで、ジャンルごとの特徴について理解を深め、文章読解に活用できるようにする。 ○情報の比較や対話形式の問題など、共通テスト問題の形式に慣れる。 ○大学入学共通テストレベルの文章を短時間で読み取るよう、スピードを意識して演習する。 |
| 3 学 期 | 特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。 | ○受験講座：大学入試問題に対応できる力を身に付ける。 ○教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。 |